

新年のごあいさつ

明けましておめでと〜ごいさつします。輝かしい平成30年の新春を、健やかに迎えのことに、心からお慶び申し上げます。

昨年は、1月1日に府中町が町制を施行して80周年の節目を迎えました。記念式典などを通じて、町民の皆さまと一緒に、先人たちへの感謝と、府中町のさらなる発展を目指すことを確認した1年になったと感じています。子どもからお年寄りまで、皆さまが「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と思える府中町を目指して、事業を進めてきました。

まずは、「子育てしやすいまち」の実現に向けた拠点として、4月、本町五丁目に町営住宅・児童センター・集会所を合築した「府中北交流センター」を開館しました。早いもので、開館からもうすぐ1年、新しい拠点として、地域の皆さまに利用されています。

安心して子育てができる環境づくりとしては、対象年齢を拡大した「子ども医療費助成制度」や、家庭でお孫さんたちを保育する祖父母を対象に「プラチナ保育手当」を開始しました。

教育環境では、子どもたちが学びやすい環境を目指し、町内すべての小中

学校の机といすを一新しました。空調設備の設置も進み、新年度から快適な室温で学習できるようになります。そして、町の7つの小中学校において、校舎の耐震化が完了し、より安心して学べる環境の整備ができました。

都市基盤整備では、向洋駅周辺の土地区画整理事業も着実に進展しています。今年は、長年皆さまに愛されてきた府中公民館・歴史民俗資料館の改築事業（実施設計）に着手します。まちの姿が、少しずつ新しい時代に向けて変化しつつあります。

今年も、引き続き、職員とともに一心に励んでまいります。今後とも、府中町政への一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

皆さまのますますのご健勝とご多幸を願い、新年のごあいさつといたします。

府中町長

佐藤 信治

副町長

岡野 浩子

児童センター「ハッピーズ」で、子どもたちと保護者のみなさんの元気な笑顔とともに（後列左から、佐藤町長、岡野副町長）

